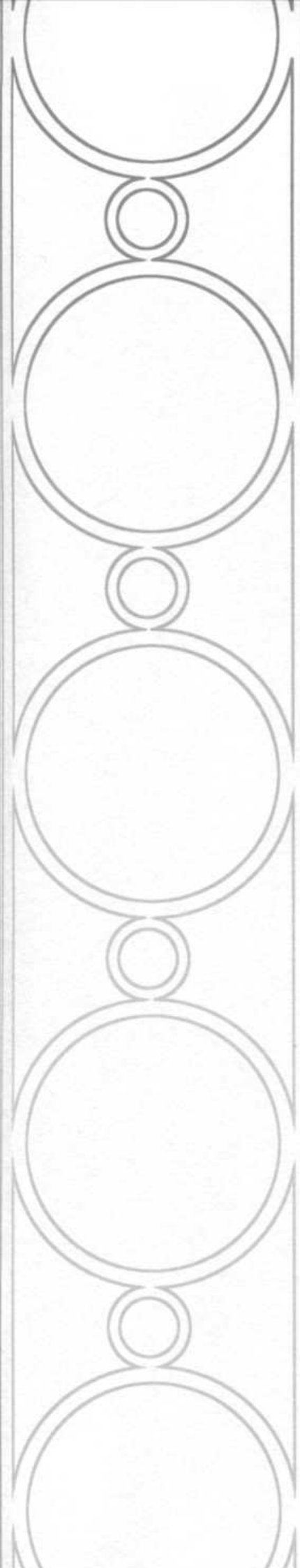


エヴェンクルガの姉弟











オウギのことを
思うと…

この気持ちは…

オウギ…

胸が
締め付けられ…
躰が熱くなってくる

オウギ…ッ

オウギ…

姉上…
お体の具合でも…

オウギ!?

こいや…
それは…
…

まあ
なんと
言うか
あれだ…

叶わぬ夢を
見ていた
ところだ

ところで
オウギ

その…
あれだ…

女には
興味は
ないのか？

女と言っても
誰でもよい
というわけ
じゃないぞ

良い女だ

姉上
それは…

あまぬ
すまぬ

いえ！

あれは
誤解に
ございます！

オウギは…
その…あれ…
だったな

オウギ!?

どうしたんだ？
そんなに慌てて
らしくないぞ

姉上
その…

まあ待て

良い女
と言うものは
男心を察する
ものだ

姉上ッ

僕は
姉上だけの
ことが…

オウギ…

オウ…ギ!?

なあオウギ
こういう時…

良い女なら
どうすればいいの
わからぬ…

ただただ
躰が火照り
胸が苦しくなる
ばかりだ…

姉上…
僕もです

このような
時は…

聞きかじった
程度の知識
ですが





汚れてなど
ないぞ

オウギの
この手は
私を支えて
くれている手だ

あッ
姉上!?

どうだ?
私の躰は

はい
とても柔らかく
暖かいです

ならば
もっと
触ってもよいぞ



私ッ
なにかキチャウッ！
すごく熱くて
キチャウッ！

オ..
ウギッ

アッ

キッ

姉上
大丈夫ですか？

ああ
大丈夫だ…

今度は私が
オウギの
熱くなっている
軀を

鎮めてやろう

姉上!?

良い女なら
当然だ

私に
任せるがいい

あの
姉上ッ

いつも風呂で
見るのとは違うな
こんなに腫れて…

愛でて
あげたいが…

どうすれば
良いのだ？

その…
あの…

書によれば…



舐めると
よいのだな

口に
含むとも...

うむっ
ころんな



うあッ…
あの…っ姉上ッ

はっ
こう…
だな



胸で挟む
とも書いて
おりました…

うむっ



こう
挟んでみるのも
よいな



どうだ？
オウギ

はいッ
とてもッ…
良いです



姉上ッ!
もう射精で
しまいます!

これが...
子種という
ものか

なんだか
また駄が...

なああ
オウギッ

んん

また
臍が熱く…

臍が
オウギを
求めてるんだ…

ぽ

ここが
疼くんだ…

オウギッ…

姉上…

挿入れますよ

んん
(3)

んん
んん





なあオウギ...
弟の躰を
求めて
しまつては...

私は良い女
ではないな...

いえ...

弟の僕が
求めてしまうほど

姉上はとても
魅力的です

うむ

好きならば
よいぞ

では
姉上

うむ

オウギツ
もつと激しく
してもいいぞッ

姉上チッいいです！
姉上が
伝わってきますッ

そッそうだろ
良い女なら
当然っ…だッ



ああッ
姉上ッ
姉上ッ!

オウギガ
奥にッ奥までッ

もいぞッ
突いてくれッ



好きです
姉上ッ

僕には…
姉上が
必要なのです

オウギ…

私もだ

本当にオウギが
必要なのは
私のほうだ…

がなくとも
そのつもり
でした

ずっと私の
傍に居て
くれぬか？

は
姉は
ご命令…

うむっ
ならば…

良い女なら
態度で
示さぬとな



姉上ッ
僕ッ…また射精で
しまいますッ!

そのままッ
射精してくれッ

書には…ッ
子供が出来るッ

ならッ
かまわんッ

オウギどの
子が欲しいッ
射精してくれッ

姉上ッ!





ああ…ッ
なか…ッ
子宮が…
すごく熱いッ

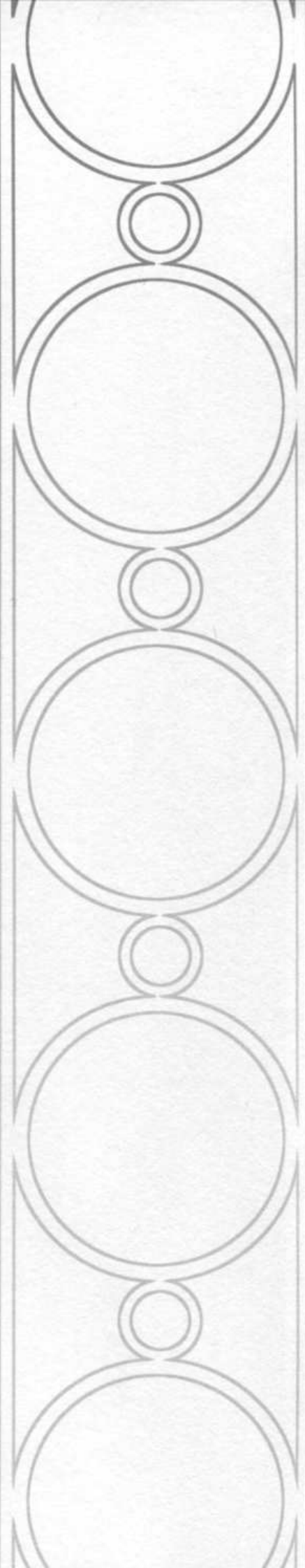
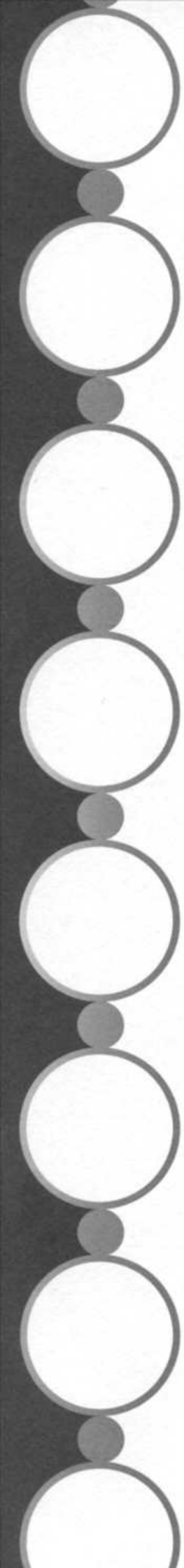
オウギで
満たされ
いくつ

なあ
オウギ

僕もです
姉上

ずっと
繋がって
いたい

このままで
居てくれ



こんにちは。音音(おとね)です。
この度は、「エヴェンクルガの姉弟」を手にとって
いただきありがとうございます。

うた偽はとても魅力的なキャラクターばかり！
その中でも、ノスリ・オウギ姉弟！
(ちなみに前作ではトウカとカルラが好きでした)
ウコハクと同じくオウノスも公式。
アニメ公式の人物相関図を見れば一目瞭然w

なんと言うかこの姉弟、二人だけ世界があるのがいいです。
ゲームの戦闘中、いちいち
「どうだオウギ、いい女だったろ」
「はい姉上」
「今のはいい男に一步近づいたぞ」
「有難うございます、姉上」
って会話しているのがたまりません。
それに対してのハクのツッコミもw

しかし、エヴェンクルガの女性はどうして…w
うっかり侍さんは「某としたことが…」と自分のしたことに
自覚があるようですが、ノスリは…
でも、そこがいいw
ノスリが一番トヤ顔が似合うと思うのは自分だけでしょうか。

自分の中で二人は白樓閣では同じ部屋と言う設定。
きっと一人で寝るのが寂しいノスリが希望。
別々の部屋でも、天井の木目が顔に見えるらしく寝る時は一緒w
もちろん夜に厠に行く時も一緒。
「白樓閣といえど、悪漢が潜んでるかもしれん。
見回りもかねて厠について来てくれぬか、オウギ」
とか言って。
そばに居て欲しいのに一緒に居て欲しいのに
素直にそう言わない姉弟。
でも、ノスリはそばにオウギが居てくれることがわかってる
オウギもどんな時もノスリのそばに居る…
オウノス妄想が止まりません！

次回作で離れ離れになったこの姉弟
そして物語もどうなるのか、すごく気になります。
発売がとても楽しみです！

発行日 2016年2月28日
イベント サンシャインクリエイション2016 Winter
つわものの夏 第二章

発行 cocon!
発行者 音音(おとね)
印刷所 緑陽社様

連絡先
<http://cocon-otone.com>
sound_and_sound@hotmail.com
twitter: @otone1206

本書の無断転載、複製
ネットへのアップロード
18歳未満の
閲覧・購入は禁止です

Presented by cocon!

